

麻薬中毒を続ける方法



東郷 潤

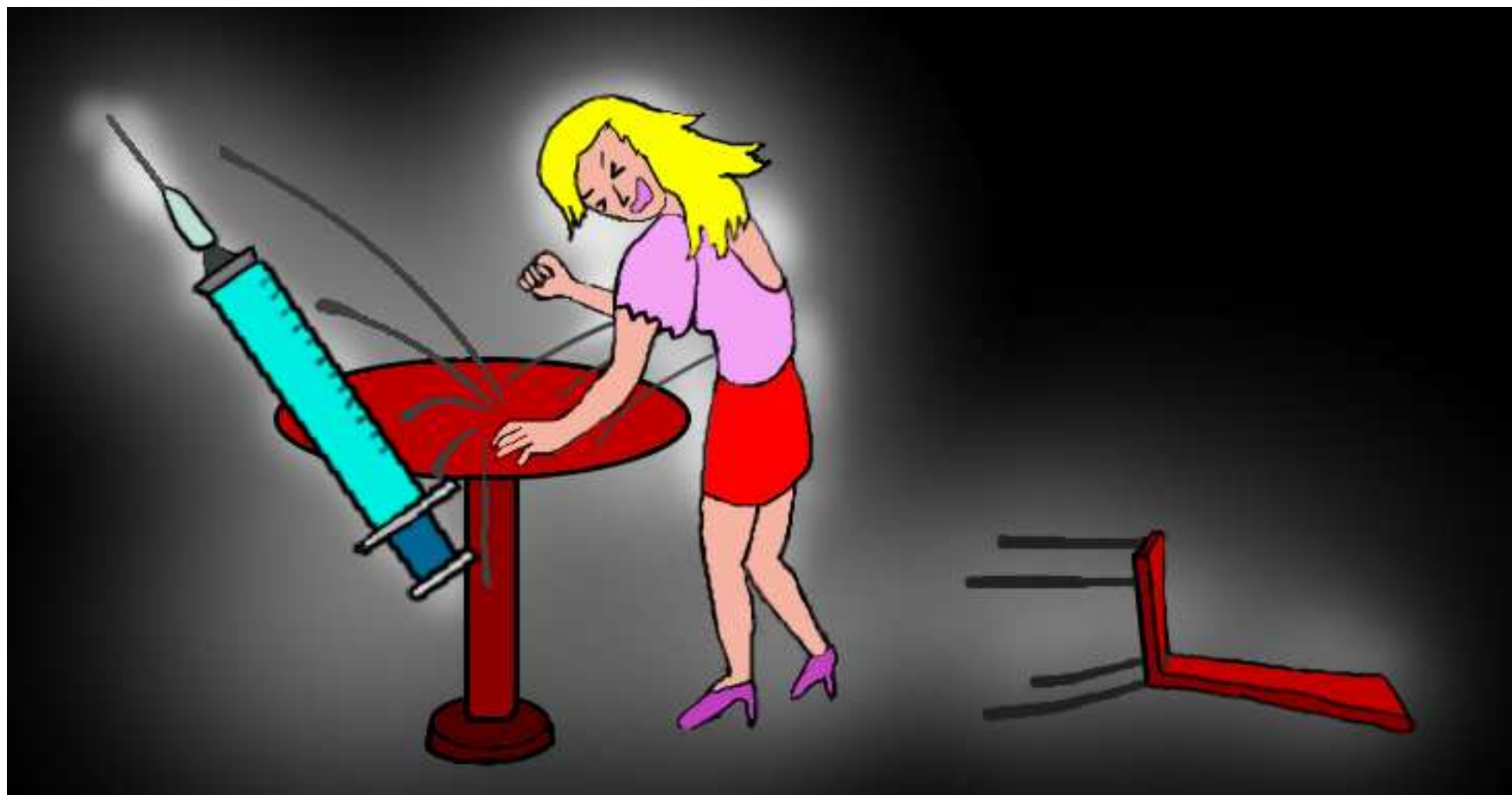
注

- ・この絵本の題名は、他のオムニバス絵本と同様に、逆説的なものです。麻薬中毒を奨励するものではありません。
- ・大人向きの絵本です。

麻薬が少しずつ私を壊しています。



このまま麻薬を使い続けていけば、大変なことになってしまいます。だから私は、麻薬を止めたいと強く思っています。

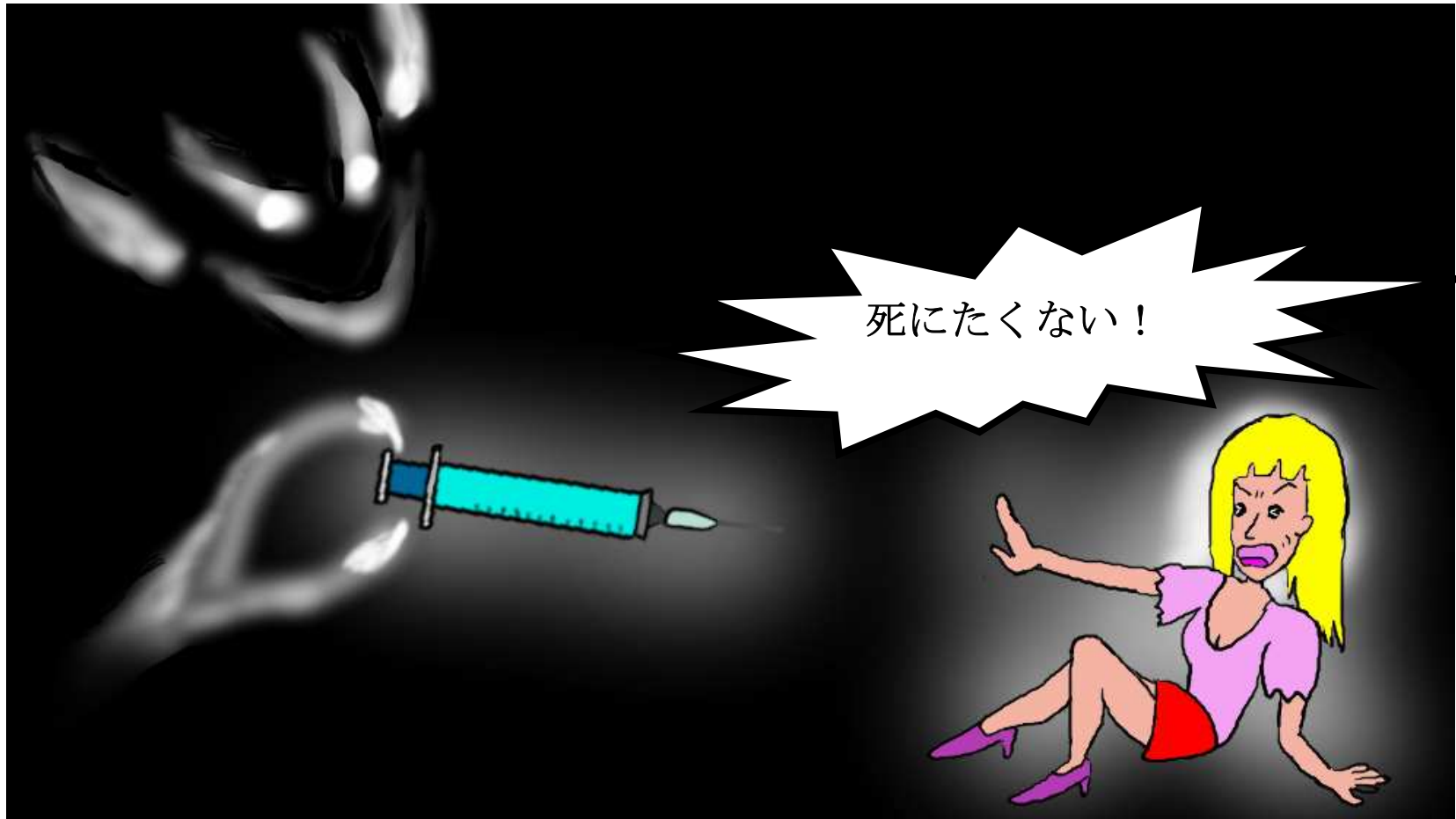


でも、私に麻薬をやめることは出来ません。



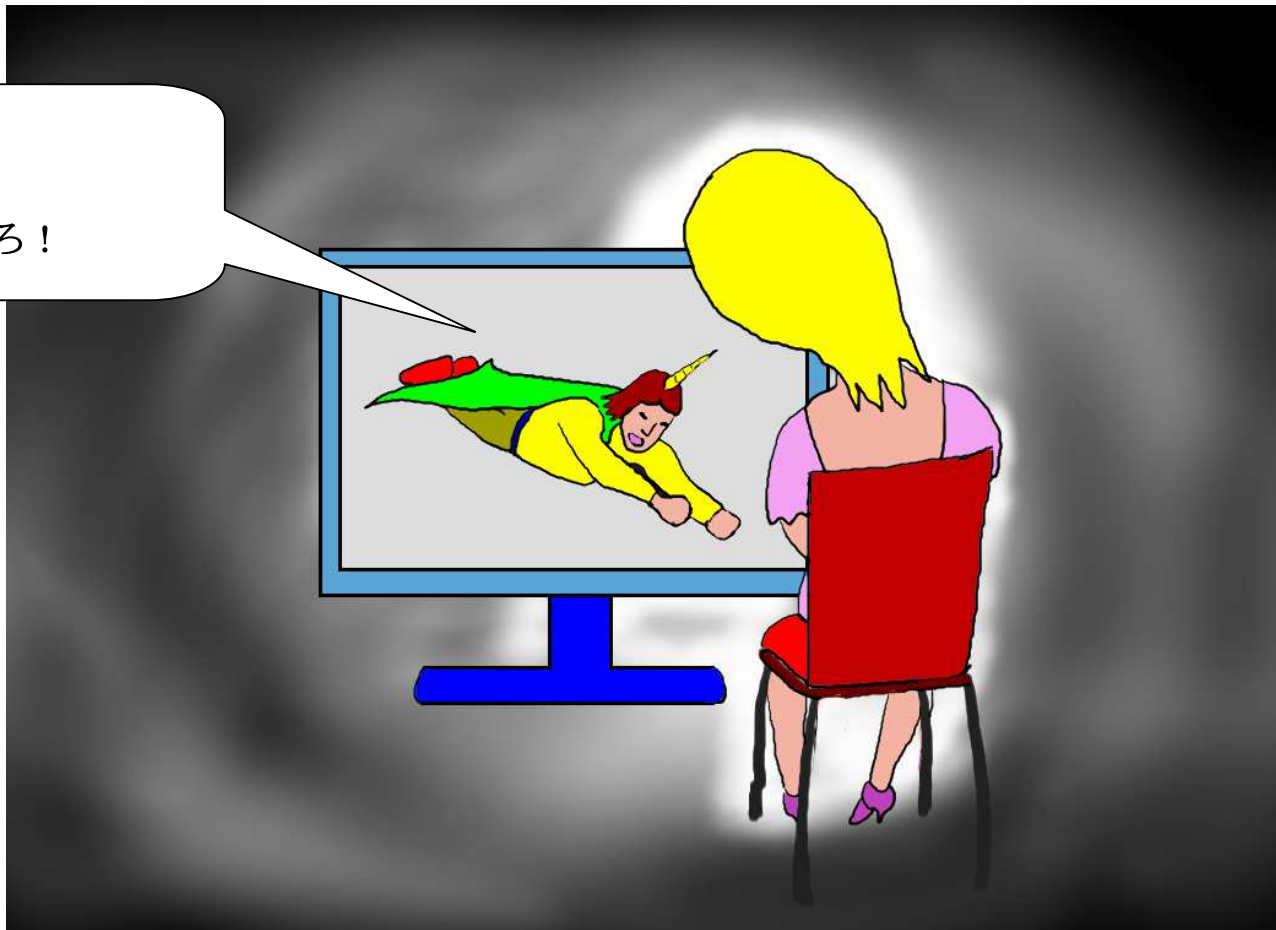
なぜなら、私は弱くて駄目で悪い人間だからです。そんな人間に、麻薬を止められるはずは無いのです。

むろん、このまま麻薬を使っていれば、いずれ病気になり、そして、死んでしまうでしょう。私は、死にたく無いです。だから本当に、麻薬をやめたくて仕方ないのです。



でも、私は弱くて駄目で悪い人間なんです。そんな人間が、麻薬の禁断症状に勝てるはずは無いのです。

悪人め
地獄へ落ちろ！



悪は、滅ぼさなければいけないそうです。
少なくとも私は麻薬中毒を続けることで、自分という悪人を一人、滅ぼすことが出来るでしょう。

P. 2へお戻りください。

飽きたら、P. 8へお進みください。



麻薬を止めたいと、たとえ死ぬほど願っても、
麻薬を我慢するなり、麻薬中毒の治療をする代わりに、
悪を責めていけば、
麻薬中毒を続けられます。

あとがき ー絵本「麻薬中毒を続ける方法」

善悪という言葉の周りには、多くの誤解や錯覚が存在するようです。

そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、様々な悲劇をもたらして来たと考えられます。（善悪の錯覚の詳細については弊著「善悪中毒」（リベルタ出版）をご参照ください。）

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、ご紹介していただければとお願いいたします。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2009